

市民の皆さんにインタビュー 2030年の福津市へ

共育、地域自治、健康、安全安心、環境保全、地域産業、観光振興の7つのテーマ
2030年に向けた課題などを市民の皆さんに聞きました。

別目標像ごとに「福津が2030年にこうなっていたらいいな」という思いや、



ごみ減量の啓発などに携わる 大塚二美子さん
NPOの活動を通じて、ごみの減量や地球温暖化の防止についての啓発を行っています。特にごみの減量は、みんなが共通して抱える問題で、地球環境にも影響を与えているの1つです。一歩ずつでいいので、日ごろからごみの減量を意識すれば、福津の豊かな環境を次の世代に引き継ぐことにつながると思います。

環境保全

自然・歴史・景観などの資源が守られ生かされるまち

- 基本方針1** 受け継がれてきた自然を守り、育てる
- 基本方針2** 福津の環境を受け継ぐ子孫のために、地球温暖化を緩和する
- 基本方針3** 快適な生活環境をつくる
- 基本方針4** 環境を守るための地域共働のしくみをつくる



空き店舗を改装したコーヒー屋を営む 濱田孟士さん
営業の仕事をしていた時に、喫茶店で飲んだコーヒーがおいしくてコーヒーを極めたいと思い、店を始めました。今後はコーヒーの魅力をもっと伝えるために、栽培にも挑戦してみたいと思います。今あるものを生かすことも大切ですが、新しい産業を生み出すことで、市外に発信していくことも必要だと思っています。

地域産業

地域の産業が経済を支えるまち

- 基本方針1** 農水産業分野の収益性を向上させ、担い手を育てる
- 基本方針2** 多様な産業が連携し、地産地消を促進する
- 基本方針3** 起業・継業促進と事業所誘致で、働く場を増やす

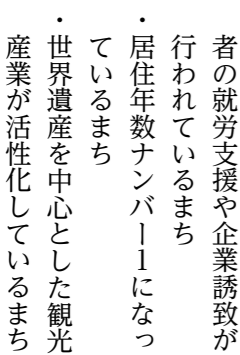


タクシードライバーの運転手をしている 高木英文さん
最近では県外や海外からの観光客が多く利用されますが、行き先は宮地嶽神社が多いです。福津には他にも世界遺産などの魅力的な場所がたくさんあるので、これからは観光地としての整備やPRを強化したり、観光の途中で立ち寄って買物物がしたくなるような店舗を増やしたりすることが必要だと思っています。

観光振興

福津の魅力を生かした持続可能な観光のまち

- 基本方針1** 国内外の人が何度も訪れたい魅力を磨く
- 基本方針2** 観光拠点を整備し、観光消費額を拡大する
- 基本方針3** ブランドの構築や管理、販売促進のための活動を強化する



地域防災の推進に携わる市消防団女性消防班の濱口百合子さん
私たちは火災予防や救命講習などを通じて、防火、防災の啓発を行っています。全国的に災害が増えている中、地域の防災力を高めることが重要です。そのためにも、共に活動してくれる多くの仲間が必要で、防災訓練への協力など、できることからいいので、地域防災に関わる人が増えてほしいと思います。

安全安心

安全・安心・快適に住み続けられるまち

- 基本方針1** 災害に強いインフラ整備と地域防災力を強化する
- 基本方針2** 暮らしやすさを実感できる生活基盤を整備する
- 基本方針3** 社会資本の有効活用と改善の推進体制を整備する

未来会議参加者の福津への思い

基本構想を策定していく上で、ふくつ未来会議で市民の皆さんからいただいた市の将来像の提案を紹介します。
・子どもから高齢者が生き生きと暮らしているまち
・第一次産業の活性化と、継承者を育成しているまち
・世代を超えたつながりがあるまち
・ブランド力が高まっているまち
・自然資源を生かした観光が活性化しているまち
・居場所があり、みんなが安心して暮らしているまち
・身の丈にあった取り組みを行っているまち
・子どもを大人が支え、自主性を育んでいるまち
・子どもたちが市内で活躍し、住み続けられるまち
・第一次産業を中心とした若者の就労支援や企業誘致が行われているまち
・居住年数ナンバー1になっているまち
・世界遺産を中心とした観光産業が活性化しているまち



市児童センター(フクスタ)の運営に携わる 甲斐涼音さん
フクスタ倶楽部の一員として、多くの人が楽しく利用できる場となるように、フクスタで開催する行事などの企画運営をしています。みんなが安心できる場所には多くの人が集まります。フクスタはもちろん、福津にも多くの人が集まり、県外に就職しても戻ってきたくなるまちであってほしいと思っています。

共育

誰もが「未来の創り手」として育つまち

- 基本方針1** 子どもの権利を守り、多様な子どもの居場所や主体的な参加の機会を促進する
- 基本方針2** 子育て中の親を支援する環境を充実させる
- 基本方針3** 豊かな体験を育み、社会に開かれた教育を推進する



郷づくり推進協議会で地域づくりに携わる 石橋和義さん
地域自治の推進には、地域行事などに当事者として参画する人が増えることが大きな力になると思います。そのためには参画するきっかけづくりとして、日ごろからのコミュニケーションが大切だと思います。お互いが顔見知り、みんなで地域づくりを楽しめる福津になってほしいと思います。

地域自治

人がつながり活躍する共助と共働のまち

- 基本方針1** 郷づくりによる地域自治の推進を支援する
- 基本方針2** 郷づくりの担い手育成と幅広い市民参加を促進する
- 基本方針3** さまざまな個人や団体間の共働を推進する



地域の健康づくりに携わる 永田和子さん(中央)、三原道雄さん(左)、山下八千子さん(右)
宮郷づくり地域福祉部会で福岡女学院看護大学や市の協力を得ながら、地域の人たちを対象にした健康測定会をしています。取り組みを始めて10年が経ち、少しずつ他の郷づくりにも広がっています。次の10年はこの活動がもっと市内に広がるとともに、一緒に関わってくれる人が増えてほしいと思います。

健康

健康で生き生きと暮らせるまち

- 基本方針1** 日常の中での健康づくりの取り組みを推進する
- 基本方針2** 生涯学習や活躍の機会を通じた生きがいを増進する
- 基本方針3** すべての人の自己決定や意思尊重を大切にすべく育てる